

岐阜商工会議所

2025年度経営発達支援計画評価委員会

議事録

日時 2026年3月10日(火) 13時00分～14時50分

場所 岐阜商工会議所 4階 常議員会室

- 議題
- (1) 委員長選任について
 - (2) 経営発達支援計画について
 - (3) 経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について
 - (4) 経営発達支援計画策定の総評について
 - (5) その他

参加者 ○委員 5名

岐阜商工会議所 副会頭	廣田 孝昭 氏
岐阜県商工労働部 商工労働政策課長	北村 和弘 氏
(代理出席 団体支援係長	奥村 功治 氏)
岐阜市経済部 商工課長	松田 耕治 氏
(代理出席 商工課 主事	森 智代 氏)
オオノ経営労務事務所 代表	大野 実雄 氏
名古屋税理士会 岐阜北支部長	加藤 直之 氏

○事務局 18名

岐阜商工会議所 専務理事	加藤 剛
同 事務局長	船田 淳
同 中小企業相談所長 兼 支援グループ長	鬼頭 貴士(法定経営指導員)
同 中小企業相談所 振興グループ長	加藤 量子
同 中小企業相談所 振興グループ課長	野倉 拓也
同 中小企業相談所 支援グループ課長	小島 清隆(法定経営指導員)
同 中小企業相談所 支援グループ課長代理	森島 悠
同 中小企業相談所 支援グループ課長代理	浅野 冴香

経営支援員

山田成大、林紀江、三浦隆史、家田 優、磯野拓実、野村文久、今井雅浩、
日比野康範、深見容弘、安田 博

内 容

議題（１）委員長選任について

廣田委員を委員長に選任。

議題（２）経営発達支援計画について

事務局より概要説明。

議題（３）経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について

事務局より、資料３に基づき実績報告の概要について事業成果事例を交え説明を行い、各事業毎に委員が協議し、達成度に対する ABCD 評価および評価結果に基づく提示、今後の展開・改善点等について意見が出された（詳細は下記評価表のとおり）。また、事業評価対象ではない「8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること」「9. 経営支援員等の資質向上等に関すること」、「10. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること」、「11. 地域経済の活性化に資する取組に関すること」について概要を説明した。

<評価表>

区分	実施内容	事業の目標	評価	提示	今後の展開 改善点等
I. 経営発達支援事業の内容					
3-1. 地域の経済動向調査に関すること	国が提供するビッグデータの活用/中小企業景況調査/独自景況調査の実施/日商 LOBO 調査/他機関の調査報告資料の収集・活用	・地域経済動向の正確な分析の実現 ・国の提供するビッグデータ活用による分析と既存の管内景況調査とを合わせた総合的な分析結果を管内小規模事業者の事業計画策定に活かし中長期の経営ビジョンを持つよう支援する。	A	ア	独自景況調査の回収率は前年度の課題を改善し、今年度は目標を達成している点が評価された。RESAS 年次公開の継続に際しては会議所見解を付した発表方法を検討すること、また MieNa・RESAS 活用事例の記録及び運用ガイド更新を検討することが求められた。
3-2. 需要動向調査に関すること	展示会・商談会・各種イベント会場における商品アンケート調査/日経テレコンデータ活用	・客観的な需要動向データを収集・整理・分析して事業者を提供し、真に消費者ニーズを踏まえた事業計画策定、販路開拓支援を実現する。	A	ア	商品アンケート調査によるバイヤーからのフィードバックは、商品の改善やブラッシュアップに有効に活用されており、その取組は高く評価できる。今年度も定量目標を達成していることから、今後も継続して実施し、商品力向上につなげていくことが望まれる。

<p>4. 経営状況の分析に関すること</p>	<p>経営分析を行う事業者の発掘/経営分析の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者自身が認識していない、あるいはまだ顕在化していない経営上の強みや弱み、問題点や根本的な経営課題を抽出できる経営分析を実施する。 ・分析においては、支援員の主観やスキルの差に影響を受けない様、定型フォーマットを活用し正確な分析を実施する。 	<p>A</p>	<p>ア</p> <p>経営分析数については今年度も定量目標を達成しており、評価できる。加えて、経営分析の必要性を訴求するセミナーとして、AI 活用やウェブ活用など、事業者ニーズを踏まえた内容により経営分析のきっかけづくりにつながっている点も評価できる。今後も、MieNa、RESAS 等の支援ツールを活用し、支援員の経験やスキル差に左右されにくい分析の質の確保に努めるとともに、セミナー受講後の反応や成果の把握も行いながら、より効果的な支援につなげてほしい。</p>
<p>5. 事業計画策定支援に関すること</p>	<p>事業計画の策定支援/創業支援の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請や資金調達のための場渡り的な事業計画策定ではなく、経営分析によって抽出した経営課題に対し、目標の姿やそこにいたるまでの改善等の具体的なアクションも踏まえた事業計画策定支援を実施する。 	<p>A</p>	<p>ウ</p> <p>事業計画策定支援については、事業者が自社の現状や課題を整理し、具体的な行動につなげる取組が進められている点は評価できる。今後は、自社の将来を見据えた事業計画の重要性を引き続き訴求するとともに、創業スクール内で廃業事例から学ぶ機会を設けることを検討されたい。また、市内開業者に対する商工会議所がどの程度関与・貢献できているかを把握するためのデータ収集を進め、現状分析と今後の支援強化につなげていただきたい。</p>
<p>6. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p>	<p>定期訪問や電話・メール等でのヒアリングによる進捗状況の把握と見直し支援/創業計画策定後の実施支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の遂行が後手に回りがちな小規模事業者に対し、定期フォローにより計画遂行意欲の向上を図るとともに、適時計画内容変更の有無を見極め、必要に応じて専門家と連携しながら問題解決を行い、計画遂行をフォローアップしていく。 	<p>A</p>	<p>ウ</p> <p>フォローアップ対象事業者数は目標を達成しており、加えて、支援先の売上増加率や利益率向上にも成果が見られる点は評価できる。一方で、延べ実施回数は目標に届いていないことから、今後はフォローアップの実績を適切に把握できる運用を</p>

				進めるとともに、売上や利益が伸び悩む事業者の要因や課題をより丁寧に把握し、継続的な支援につなげていただきたい。特に、売上が上がっていない事業者の状況把握に一層力を入れ、廃業に至らせないためのフォローをさらに強化されたい。
7. 新たな需要の改善に寄与する事業に関すること	展示会出展事業/商談会参加事業/商店魅力発掘事業/合同記者発表会等のメディアへの情報発信による販路拡大事業/ECサイトへの掲載による販路拡大事業	・小規模事業者が不得手としている販路や販売チャネル開拓に対し、当所がもつ各種メディア等とのネットワークやスケールメリットを活かした商談会、展示会などを活用し、販路開拓、情報発信の一助となる事業を展開していく。また参加事業者増のために、支援員一人ひとりが事業に対する理解度を深め、訴求力向上を図ると共に、事前セミナー等で事業者のブラッシュアップ支援を行う。加えてイベント終了後の事業者の成果を把握し、分析改善を実施していく。	A	ウ まちゼミ「おしえ店長サン」については、参加事業者数は目標未達であるものの、昨年度を上回る参加が得られ、新規参加事業者も増加している点は評価できる。また、1社あたりの新規客数が目標を上回っており、各店舗のファンづくりや新規来店につながっていることがうかがえる。今後は、参加事業者数の一層の拡大に向けて、広報や参加促進の工夫を重ね、新規利用事業者の開拓に努められたい。あわせて、合同記者発表会については、メディア参加数、掲載率ともに高い水準を維持し、発表事業者の93.3%がメディアに取り上げられている点は高く評価できる。一方で、売上高3%以上向上の目標については、これを上回る目標設定も検討するとともに、合同記者発表会の参加者増加に向けた積極的な取組を進め、さらなる事業効果の向上に努められたい。

【評価基準】

- A：目標を達成することができた（100%）
- B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

【評価結果に基づく提示】

ア：事業継続 イ：事業廃止
ウ：事業改善 エ：代替事業（新事業）への必要性

議題（４）経営発達支援計画の総評について

事務局より、各発達支援事業の実績報告と併せて、重点的な事業支援事例を6事業分、個社支援成果として各経営支援員の支援事例14件を提示した。その後、事例発表として、野倉経営支援員と森島経営支援員より、岐阜県小規模事業者パワーアップ応援補助金（岐阜県小規模事業者持続化補助金）の働いてもらい方改革枠を活用した支援事例と、家田経営支援員より事業支援事例（中小企業災害対応力強靱化事業）の発表を行いました。

これらの事例報告を踏まえ、委員長より総評があり、職員の日頃の努力ときめ細かな支援を高く評価するとともに、過去の評価委員会の中でも高水準の結果につながったことが述べられました。また、補助金提案や各種セミナー、事業承継支援など、事業者ニーズに応じた幅広い支援の重要性に触れ、今後も継続して取り組むことへの期待が示されました。そのうえで、岐阜市全体の産業活性化やまちづくり、特に中心市街地の活性化は重要な課題であるとし、時代や事業者の要望に即した新たな方策を考え、毎年着実にレベルアップを図るよう要望がありました。

議題（５）その他

なし

以 上